連盟だより ぐんま

No.47

バトンをつなぐ

昭和45年（1970年）
日本看護連盟群馬県支部設立

平成17年（2005年）
リフォーム連盟
群馬県看護連盟へ名所変更

令和元年（2019年）
群馬県看護連盟設立50周年

歴代看護職国会議員

清水嘉与子

南野知恵子

能勢　和子

現職看護職国会議員

阿部　俊子

髙階恵美子

石田　昌宏

木村　弥生

目次

ご挨拶…… 2・3
令和元年群馬県当初予算に対する重点要望事項 4
群馬県知事へ要望書提出…… 4
関東甲信越ブロック政策セミナー…… 5
JNA ビル・国会見学 …… 5
第１回働き方改革コンテスト…… 6
第２回リーダー研修…… 6
看護協会・連盟合同研修…… 7
お知らせ…… 8

ご　挨　拶

群馬県看護連盟会長
島　崎　すえ子

春の暖かさを感じる季節となりましたが、皆様お元気でご活躍のことと思います。

日頃より群馬県看護連盟の活動に対し、ご支援・ご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年の参議院選挙では多くの皆様にご支援・ご協力をいただき、石田まさひろ議員が２期目の当選を果たすことが出来ました。政治力で看護政策の実現を図ってくれる事を期待しましょう。

さて、群馬県看護連盟は令和元年をもちまして、創立50周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の厚いご支援と温かいご協力のおかげと深く感謝いたします。そこで、令和２年の群馬県看護連盟通常総会開催と共に、創立50周年の記念式典及びパーティーを行います。記念式典では、表彰式やイベントなども企画しておりますので会員のみなさまには、是非ご参加していただければ幸いです。

今年は、ナイチンゲール生誕200年となり、看護協会と看護連盟は協働してNursingNowキャンペーンを通し、「看護の力で健康な社会」の実現を目指しております。また、平成から令和へと看護の発展に導いた、看護師等の人材確保法に基づく「看護の日」制定30周年でもあります。

これからも、日本看護協会の重点政策を進めていく上で、看護協会と看護連盟がしっかりとタッグを組み、看護の力を結集し看護政策の実現を目指して活動していく必要があります。

どうぞ、ご理解のほど、これからも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

日本看護連盟会長
大　島　敏　子

群馬県看護連盟の皆さんこんにちは。

第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、２期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、会員数だけの得票が得られないことに力不足を覚えております。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年となりました。先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日ベッドサイドで病める患者と共にありました。今後は、スローガンを見直し、臨床と看護政策を結ぶ情報発信にも力を入れてゆきます。

子年は、新しい生命力が想像される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらすそうです。会員を増やし、人生100年時代に看護連盟は、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築しつつ、看護職の地位向上をめざして更なる政治参加に邁進して参りましょう。

公益社団法人
群馬県看護協会会長
荻　原　京　子

昨年度の参議院選挙では、連盟会員の皆さまをはじめ多くの皆様のご協力により石田昌弘議員が当選され、誠におめでとうございます。また、お疲れさまでした。看護協会では、これからの看護基礎教育４年制化や看護師登録制度の実現、看護職の働き方改革や看護の役割拡大など、法律改正を伴うような課題が山積している中で、大きな力をいただきました。また、看護連盟と看護協会合同看護管理者セミナーでは、それぞれの役割を理解し、お互いの連携強化の必要性を理解し共有する機会となりました。

来年度も、連盟と協会は連携して「Nursing nowキャンペーン～看護の力で健康な社会を！」をスローガンに活動してまいります。看護職が社会に求められる役割を果たすには、元気で安心して働き続けられるよう支援が必要です。そのためにも、更なる連携強化と組織力強化のための入会促進に向けた取り組みを推進してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

新年度に向けて

衆議院議員 あべ　俊子

今年度の振り返りにあたり、まずは、石田まさひろ参議院議員が再選されたことについて、群馬県看護連盟の皆さまに御礼とお祝いを申し上げます。

看護政策というのは、皆さまが感じている臨床での疑問をもとに、切り開いていくものです。人々の健康支援に必要な看護課題に対し、臨床と研究が連携してエビデンスを提示し、診療報酬改定の課題として提言することが必要です。ですが、それも一議員の力では限界があります。今年度、皆さまのお力添えのおかげで、看護議員の議席を守ることができました。診療報酬改定を来年度に控え、看護議員が結束して、看護による医療全体への貢献を主張して行く所存です。

看護記録の削減、看護職員の確保、ライフステージに応じた柔軟な働き方など、多くの課題に丁寧に対応して参ります。女性が多い看護職は、地方創生と女性活躍の鍵を握ります。来年度も皆さまからの忌憚ないご意見、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

衆議院議員 木村　弥生

群馬県看護連盟の皆さま、こんにちは。昨年は新たな元号の幕開けとともに、総務大臣政務官を拝命する忘れられない年となりました。その重みと責任を噛みしめながら、国家の繁栄と安寧のために力の限りがんばります。

来年は５Ｇが本格的にスタートします。人口減少・超高齢社会のわが国で、ICT（情報通信技術）は、これからの医療・福祉・農業・観光・地域交通・防災・行政サービスなどの分野で大きな役割を果たします。情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、情報を活用していけるように繋ぐのも私の役割と心得ます。看護もまさに「繋げる」仕事。医師と患者･ご家族を繋げ､チーム医療のキーパーソンとして各医療職を繋げ、医療と介護を繋ぐ。そして、看護職議員として皆さまの思いを国政に繋げ、実現してまいります。

これからも、女性、母親、看護の視点をいかしながら、平和で誰もがより健康で活躍できる、誇りある日本を築いてまいる決意です。ご指導よろしくお願い致します。

参議院議員 たかがい恵美子

向春の候、群馬県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がりを信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。

参議院議員 石田　昌弘

群馬県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。こちらでは気温はまだ低いとはいえ窓から春めいた日差しが降り注ぐようになってまいりました。2020年が、すばらしき一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は、皆様のお力を頂き二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県全てを回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。お一人お一人の力が一つになり私に新たな使命が与えられたのだと実感しております。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。

そして参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を、自民党においては副幹事長という役割を拝命いたしました。与えられた役割をしっかりと努めて参ります。

また診療報酬改定の項目と点数が明らかになりました。重症度、医療・看護必要度はそれぞれの項目の見直しとともに該当患者割合が上昇し、Ｂ項目の「根拠となる記録」や「院外での研修」は内容から削除されました。これらは議員になってから皆さんに約束をしていたものです。そのほかにも夜間看護体制の充実や認知症ケア加算の見直しなど看護関連は加点が多くなりました。現場の看護職の皆さんがより働きやすくなることを期待しています。

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年群馬県当初予算に対する重点要望事項

日時：９月30日（月）

～自民党群馬県連政策懇談会を開催し要望書提出～

要望事項

1．地域包括ケアシステム構築の推進について
2．看護職確保対策としての看護職の人材確保及び質の確保について
3．保健師の人材確保と訂正配置について
4．看護職等修学金確保について

群馬県知事訪問

日時：11月21日（月）

～山本知事へ要望書提出～

看護協会と看護連盟と共に新知事を訪問

関東甲信越ブロック政策セミナー

日　　時：11月16日（土）・17日（日）

「看護管理者等政策セミナー」に参加して

太田医療技術専門学校　看護学科学科長　諏訪由美子

11月16日（土）、17日（日）の2日間、上記セミナーに参加させていただきました。

まず、医療政策の動向や社会保障改革に関する講演では、人口構造の変容に伴いさまざまな課題があり、それに対する取り組みも行われていることを知りました。また、看護を取り巻く課題としては、人口減少に伴い、より少ない人数で多くの患者の満足をどう実現するのか、医師の働き方改革により看護業務の見直しが必要になること、看護職の役割・裁量範囲の拡大、2025・2040年問題に向けての課題、などさまざまなものがあり看護師である私たちも一人一人考えていかなければならないと感じました。また、看護政策を実現することの重要性について再認識することができました。それとともに、教育の場で看護連盟や看護協会などの専門職組織の確立に参画することの必要性を学生に伝えることの大切さを痛感しました。

国会議事堂見学

日　時：9月3日（火）・10月2日（水）
参加者：70名

高度救急救命センター　斎藤　諭加

国会議事堂の見学には小学校の修学旅行で行った時以来でした。その時は理解できなかったことが、大人になった今は理解することができました。面白いもので少し理解できただけで政治がわかったような気がしました。また看護師だった議員さんのお話を直接聞くことができました。看護協会では協会の歴史、建物の説明をしていただき、貴重な体験ができた１日でした。

高度救急救命センター　鈴木奈津美

９月３日、まだ夏の暑さが残る晴天の日に、看護協会本社と国会の見学に参加させていただきました。どちらも初めての体験で、驚くことばかりでした。

看護協会では、渋谷の表参道にひときわ目立つ建物で、ここが看護師の中心地点だと思うと誇らしく思えました。国会見学では、議員の方とお会いしたり写真撮影など、普段では経験できない貴重な体験となり、また看護師の地位向上のために働く方々の存在の大きさも実感できました。

日本看護連盟会長室

第１回働き方改革コンテスト

日　　時：10月19日（土）
参加人数：143名

桐生厚生総合病院　山田あかり

今回の研修で各施設、様々な取り組みを行っていることを知りました。当院でもリリーフ体制や育児短時間勤務などを導入しています。それらを定着させるためには、色々なライフスタイルがあることを理解し、その立場に立って考えていくことが必要です。また、全ての職員が健康で楽しく、そして活躍できる職場づくりに繋げるためには施設全体で取り組まなければならないことを強く感じました。

第２回リーダー研修

日　　時：12月21日（土）
参加人数：117名

上牧温泉病院　山田　弥生

看護協会は身近な感じがするのに対し看護連盟は遠く感じる。政治？自分達には関係ない気すらしてしまう。現場での生の声を伝える、届ける良いチャンスの場なのに勿体ない。「連盟＋協会」の２つ車輪が上手く動いてくれることで私たちの働く場の環境が整い、働きやすくなることで自分達の生活もより豊かなものになるのだと思う。

もっともっと多くの看護師やその家族・友人に看護連盟の存在を知ってもらわなければいけないと思う。そうすることで連盟の活動を活発化することができ、そうすることで連盟の活動を活発化することができ、みんなできっと楽しく取り組めると思う。

看護協会・連盟合同研修

日　　時：11月19日（土）
参加人数：110名

公立七日市病院　篠崎美和子

研修に参加し、看護連盟の役割・必要性について改めて学びなおすことができた。しかし、一人でも多くの人に理解してもらうには、今回のような研修に参加する人を増やすことが大切であると感じた。

今回、働く環境の問題点についてグループワークを行ったが「人材不足」「人材育成」「労働環境」など、問題点は共通しており同じであると感じた。スローガン「ベッドサイドから政治を変える」とあるように、現場の声を政治の場に届け、実現していくことが大事である。現場の声が反映され制度が変わり、看護職がイキイキと安全で質の高い看護ができるような労働・職場環境になるよう、今後も現場の声を届けていきたいと思った。

真木病院　大沢　雅美

看護協会の活動は、研修などを通し身近なものに感じていた。しかし、看護連盟の活動は、選挙活動と捉えてしまい、身近のものとして考えられなかった。この研修で、看護協会と看護連盟は、私たち看護政策の実現のために役割を分担し、協働していることが理解できた。協会も連盟も自分にとって必要なものであると感じた。

ワールドカフェでは、各施設の参加者と職場での悩みを共有・共感した。どこの職場でも似たような悩みを抱えているので、その声を協会や連盟に届けて、改善策を導き出す必要性を感じた。

看護連盟会長

看護協会会長

楽しい看護連盟活動に向けて フィッシュコーナー始めました!

◀ハロウィン

◀お正月

看護協会２階
看護連盟事務所前
お越しの際は是非
ご覧ください。

◀クリスマス

◀ひな祭り

秋の叙勲受章　おめでとうございます（敬称略）

瑞宝双光章（看護業務功労）
元　公立群馬藤岡総合病院　看護部長　五十嵐克子

お知らせ

■群馬県看護連盟通常総会

令和２年６月13日（土）13：00～15：00
会場：ホテル1-2-3　前橋マーキュリーホテル

■群馬県看護連盟創立50周年記念式典

令和２年６月13日（土）15：00～17：00
会場：ホテル1-2-3　前橋マーキュリーホテル

新年度 看護連盟会員募集中

あなたの入会が、あなたの問題を解決します。

正会員	年会費	8,000円	内訳…本部5,000円＋県会員3,000円
特別会員	年会費	5,000円	正会員の経験を有し未就業で看護協会員でない方
賛助会員	年会費	500円	看護連盟の主旨に賛同いただける方
学生会員	年会費	無料	看護連盟の主旨に賛同いただける看護学生

●お申し込み・お問い合わせは
TEL 027-264-1081　Fax 027-264-1082　E-mail：nkr-gunma@lily.ocn.ne.jp

みどり市にある美濃屋さんは1934年創業。小麦粉を麹で発酵させ、変わらない製法で伝統の味を守り続けています。１本150円の群馬名物のあまじょっぱいタレが絶品。店内で食べられ、テイクアウトも可。香ばしい香りに誘われ、ドライブがてらご賞味に出かけませんか。

編集後記

看護連盟の研修会運営にたくさんの参加をいただきありがとうございました。今年は、群馬県看護連盟も50周年を迎える事ができました。会員のみなさまに支えていただき、看護職代表の国会議員の先生方とともに、多くの現場の声も届けることができました。更なる業務改善を行えるように、頑張って行きましょう。今後とも、会員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

令和２年３月１日発行　群馬県看護連盟　発行責任者　島崎すえ子

群馬県看護連盟
〒371-0007 群馬県前橋市上泉町1858-7 TEL027-264-1081 FAX027-264-1082
E-mail:nkr-gunma@lily.ocn.ne.jp　http://www.16/ocn.ne.jp/~nkrgunma/